

【研究費区分】：研究センター支援

【研究代表者所属】：都市環境科学研究科 観光科学域

【研究代表者氏名】：菊地俊夫

【研究代表者氏名フリガナ】：キクチ トシオ

【研究代表者職】：教授・地域共創科学研究センター長

【国内研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・ 清水哲夫（観光科学域・教授）
- ・ 川原 晋（観光科学域・教授）
- ・ 下村芳樹（システムデザイン研究科・教授）
- ・ 杉本興運（観光科学域・助教）
- ・ 平田徳恵（観光科学域・特任助教）
- ・ 矢ヶ崎太洋（観光科学域・特任助教）
- ・ 上原 明（観光科学域・特任助教）

【国外研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・ Martin Philipps（レスター大学・教授、観光科学域・客員教授）

【研究センター名】：

地域共創科学研究センター

【研究課題名】：

①地域資源デザイン、②共創型地域まちづくり、③地域サービス工学、④地域データサイエンス、⑤地域共創人材育成の5つの領域で地域主体に多様かつ高度な実践研究の実施

【研究実績の概要（600～800字程度で記入。図、グラフ等の使用も可。）】

- ・ 上野プロジェクト：国際観光都市の上野地域を対象に都市開発の歴史、住民の世代交代、人口移動、国際化の進展などの視点から地域動態や観光動態に関する分析や提言を行った。
- ・ COCOONプロジェクト：東京23区を拠点として企業の高付加価値化戦略としての製品サービスシステム（通称 PSS）の設計・開発のための手法とツールを実践的に活用する場を提供し、複数企業とともに運営を行った。
- ・ 「農」空間の保全と適正利用：東京を都市と「農」空間が共生するアグロポリスと位置づけ、各ステークホルダーの有機的な繋がりを活かした「農」空間の保全と適正空間に関する施策の実現を目指す計画立案を行った。
- ・ 観光経営人材育成：地域や産業における観光進行の担い手を育成する教育プログラムを開発することを目的

として、観光経営人材育成の教育プログラムを開発した。

- ・ 観光地のエリアマネジメント in 高尾山：観光客が急増した高尾山を舞台に、多様な主体を巻き込んだ共創型のまちづくりや観光地マネジメントを実践した。
- ・ 地域創生スクール：多摩信用金庫と首都大学東京が連携して多摩地域の自治体職員の情報処理や地方創生の政策立案能力の向上を目指し、データ分析や演習を実施した。
- ・ 当該年度のプロジェクトのさまざまな成果は、2019年11月15日に「公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム」において公表された。なお、シンポジウムでは、プロジェクトの成果発表だけでなく、宮城大学の地域連携センターの取り組みの視察、双方の活動に関する情報交換、今後の連携について意見を交わした。

#### 【学会発表（発表題目，発表大会名，年月を記入）】

##### ■国際学会

- ・ Waldichuk, T., Kikuchi, T., Tabayashi, A. and Nihei, T. Agriculture Diversity in BC7s Thompson and Cariboo Regions. Association of BC Studies, Thompson Rivers University, May, 2019.
- ・ Iizuka, R., Kikuchi, T. and Phillips, M. Change in mobility and impact of rural gentrification in remote commuter villages: The case of the rural area of Leicestershire, England. XXVIII European Society for Rural Sociology Congress, Trondheim, June, 2019.
- ・ Kikuchi, T. Commodification of rural environments for regional development in Japan; Attention to differences of regional environments. The Workshop of Economic and Social Research Council, The University of Leicester, Leicester, August, 2019.
- ・ Choi, K., Kurihara, T., Shimizu, T. and Nguyen, V. T.: Possible utilization of tourism statistics and big data for regional tourism organizations in Japan – Quantification of effect of Snow Festival in Sapporo, Hokkaido, International Conference of Travel and Tourism Research Association 2019, Melbourne, 2019.6
- ・ Kuki, Y., and Shimizu, T.: Impact of International and Domestic Flights to/from Japanese Local Airports on Overnight Stays of Foreign Visitors in Japan: An Analysis , 13th Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Colombo, 2019.9
- ・ Nicholas, M. and Shimizu, T.: Foreign Tourists' Aggressive Driving Behavior in the Eyes of Bali Local Resident, 13th Conference of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Colombo, 2019.9

##### ■国内学会・講演

- ・ 菊地俊夫 地理学とフィールドワークの世界（会長講演）. 地理空間学会，筑波大学（東京大塚），2019年6月16日.
- ・ 菊地俊夫 上野地域における観光振興プロジェクト. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム，宮城大学，2019年11月15日.
- ・ 清水哲夫 EBPM を目指した自治体地域連携事業提案の方法論の模索～首都大発地域創生スクールの3年間の取り組みと今後～. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム，宮城大学，2019年11月15日.
- ・ 平田徳恵・清水哲夫 東京都連携高度観光人材プロジェクト～観光経営人材育成講座の実践と評価～. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム，宮城大学，2019年11月15日.

- ・ 上原 明・矢ヶ崎太洋 言語解析による訪問者の観光目的地イメージに関する研究～観光目的地としての高尾山を対象に～. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム, 宮城大学, 2019年11月15日.
- ・ 矢ヶ崎太洋・上原 明 夜の恐怖を用いた地域共創の可能性～心霊スポット巡礼ツアーの事例～. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム, 宮城大学, 2019年11月15日.
- ・ 青木卓也・石井萌美・川原 晋 深川萩焼アーカイブ調査からつくる窯業と隣接温泉地再生の戦略. 公立大学法人宮城大学 地域連携センター報告会 首都大学東京との公開シンポジウム, 宮城大学, 2019年11月15日.

【論文発表又は著書発行（発表題目，著者，発表誌又は出版社，年月を記入）】

■論文（査読付き）

- ・ 飯塚 遼・太田 慧・菊地俊夫 都市住民との交流を基盤とする都市農業の存続・成長戦略 —東京都小平市の事例—. 地学雑誌 128-2 : 171-187. 2019年4月.
- ・ 菊地俊夫・田林 明 佐賀平野における水田農業の存続・発展戦略. 地学雑誌 128-2 : 209-283. 2019年4月.
- ・ 田林 明・菊地俊夫・西野寿章 山梨県甲府盆地における果樹農業の持続性. 地学雑誌 128-2 : 255-276. 2019年4月.
- ・ 田林 明・菊地俊夫・西野寿章 日本農業の存続・発展戦略と地域的条件. 地学雑誌 128-2 : 337-358. 2019年4月.
- ・ 菊地俊夫 東京大都市圏における「農」空間の保全と適正利用によるルーラルツーリズムの発展. 農村計画学会誌, 38巻1号, 15-1. 2019年6月.
- ・ 西村圭太・杉本興運・菊地俊夫 ボランティア地理情報を用いた北海道におけるサイクリストの周遊行動の分析. GIS-理論と応用, 27(2), 19-29. 2019年12月.
- ・ Tabayashi, T., Kikuchi, T. and Waldichuk, T. Commodification of rural spaces owing to the development of organic farming in the Kootenay region, British Columbia, Canada. Geographical Space, 12-2, 71-95. 2019年12月.
- ・ 菊地俊夫 地理学とフィールドワークの世界. 地理空間, 12-3, 149-158. 2020年3月.
- ・ 菊地俊夫・飯塚 遼 シドニー大都市圏のビールツーリズムの発展にみる地域資源の再編プロセス. 観光科学研究, 13, 33-41. 2019年3月.
- ・ 吉岡誉将・杉本興運・菊地俊夫 Jリーグサッカーファンのアウェイ戦観戦行動と地域変容—スポーツイベントによる地域活性化に向けた示唆—. 観光科学研究, 13, 1-11. 2019年3月.
- ・ 杉本興運・菊地俊夫 東京都台東区上野における産学官連携プロジェクトの活動報告. 観光科学研究, 13, 55-60. 2019年3月.

■論文（査読なし）

- ・ 菊地俊夫 地域活性化に貢献できるフードツーリズムの構造. 週刊農林, 2402号, 16-18. 2020年1月.
- ・ 菊地俊夫 歴史的町並みの景観と観光. 地理月報, 557号, 2-3. 2020年1月.
- ・ 菊地俊夫 フードツーリズムで地域を活性化する：フードツーリズムの先進事例としてのカナダ・カウティンベイ. 週刊農林, 2407号, 6-9.
- ・ 菊地俊夫 日本におけるフードツーリズムの多様な展開. 週刊農林, 2410号, 6-7.

## ■著書(分担執筆)

- ・ 犬井 正・菊地俊夫他著「日本の農村を識るー市川健夫と現代の地理学ー」古今書院, 2020年3月.
- ・ 矢ヶ崎典隆・菊地俊夫他著「地誌学概論」朝倉書店, 2020年3月.
- ・ 田林 明・菊地俊夫他著「カナダにおける都市ー農村共生システムー農村空間の商品化と地域振興ー」農林統計出版, 51-70. 2020年3月.

(※Q1 ランク学術誌への投稿及び EurekaAlert!への投稿等には「・」を「\*」とすること。)

## 【外部研究費等への応募状況】

- ・ 上野観光連盟：上野地域の観光活性化プロジェクト、上野の杜文化プロジェクト（研究代表者：菊地俊夫、2016～2019年）
- ・ 国土交通省国土技術政策総合研究所委託研究：地域づくりに資する ITS 等の活用に関する研究。（研究代表者：清水哲夫、2016～2019年）
- ・ 東京都産業労働局観光部委託事業：観光経営人材育成事業。（実施代表者：清水哲夫、2017～2019年）
- ・ 八王子市 都市戦略部 日本遺産準備担当課：歴史文化資源の活用に関する共同研究。（研究代表者；川原 晋、2019～2020年）
- ・ 萩焼深川窯振興協議会：萩焼深川窯オーラルヒストリー調査 及び資料作成。（研究代表者；川原 晋、2019～2020年）

## 【科学研究費補助金や国等の提案公募型研究費、企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ 基盤研究 A：観光地環境管理と市場活動の統合型計画技術『地域観光プランニング』の詳細化と実装化。（研究代表者：川原 晋、2019～2022年）
- ・ 基盤研究 C（一般）：フードツーリズムのフレームワークを用いた農村再生システムの地理学的研究。（研究代表：菊地俊夫、2017～2020年）

## 【受賞等】

- ・ 2019年5月：2018年度観光研究学会優秀論文賞「西村圭太・杉本興運・菊地俊夫（2018）：コミュニティサイクル利用観光者の回遊行動特性ー埼玉県川越市を事例にー」

## 【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献, 生涯学習支援・普及啓発, 国際貢献・国際交流等]

菊地俊夫：

- ・ 地理空間学会会長
- ・ 日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会（JONA）認証判定委員・委員長
- \* 国土交通省審議会会長
- ・ 東京都港湾局海上公園指定管理者評価・選定委員会委員
- \* 八王子市斜面緑地保全委員会委員長
- \* あきる野市総合計画策定委員会委員長
- \* 調布市まちづくり審議会委員
- \* 調布市緑の基本計画策定委員会委員長
- \* 調布市国史跡下布田遺跡整備基本計画策定委員会委員

・名古屋インバウンド観光協会理事

清水哲夫

- \* 観光統計の整備に関する検討懇談会委員（観光庁）
- \* 観光圏整備に関する検討会委員（観光庁）
- \* 観光振興事業費補助金外部有識者委員会委員（観光庁）
- ・ビッグデータによる旅客流動把握の高度化に関するワーキング委員（国土交通省総合政策局）
- ・地域道路経済戦略調査研究会委員（国土交通省道路局）
- ・訪日外国人などの多様なニーズに応えるタクシーのあり方検討会（国土交通省自動車局）
- \* 東京都市圏総合都市交通体系調査技術検討会対流拠点ワーキング委員（国土交通省関東地方整備局）
- \* 多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会委員（東京都都市整備局）
- \* まちの魅力向上に向けた道路等の公共空間活用検討会委員（千代田区）
- \* 町田市交通安全行動計画策定および推進委員会委員長

川原 晋

- \* 横浜市地域まちづくり推進委員会 まち普請事業部会委員
- \* 長門湯本温泉観光まちづくりプロジェクト デザイン会議委員
- \* 青梅観光戦略創造プロジェクト委員会 座長
- \* 藤沢市都市景観アドバイザー（藤沢市計画建築部景観課）
- \* 八王子市景観審議会委員（八王子市まちなみ景観課）
- ・八王子市観光コンベンション協会 理事
- \* 八王子市高尾山口駅周辺地区まちづくり連絡会準備会委員（八王子市都市計画課）
- ・川崎市民間活用推進委員会委員 委員
- ・町田市観光まちづくり推進委員会 委員
- ・あきる野市まち・ひと・しごと総合戦略推進会議 副座長

(※自治体等への政策提言や知見の提供には「・」を「\*」とすること。)

#### 【研究成果による特許等の工業所有権の出願・取得状況】

(工業所有権の名称,発明者,権利者,工業所有権の種類・番号,出願年月日,取得年月日)

・

#### 【研究分担額】

(研究代表者・分担者名,所属,金額(円))

- ・菊地俊夫・矢ヶ崎太洋、観光科学域（250万円）
- ・菊地俊夫・上原 明、観光科学域（250万円）
- ・菊地俊夫、観光科学域（100万円）